

終末期医療について

大山口診療所

久野 宣年

終末期医療、つまり「死に至る直前の医療の在り方」が変わりつつあります。これまで、特に病院では命を延ばすことが最も大切なことでした。実際に病院では死の直前または心停止に至ると回復の見込みのない場合でも家族を患者から引き離して挿管（喉に管を入れる）をし、心臓マッサージを行うことがあります。延命が最優先で延命のためなら何でもしようという考えが強くあります。このような処置は当然と考えられていました。しかし、これは終末期にある患者さんに対する単なる儀式にすぎません。

終末期の患者さんの延命だけを考える医療から、患者さんの尊厳死またはこれまでのその人なりの生き方・考え方を尊重した看取りの方方が考えられるようになりました。末期の癌または重い脳卒中などで病院での治療法がない場合には、在宅で看取りを希望することは終末期緩和治療の進展に伴い普通のことになります。

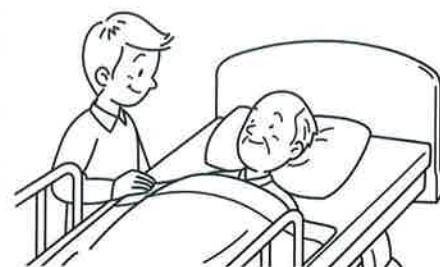
終末期医療、つまり「死に至る直前の医療の在り方」が変わりつつあります。これまで、特に病院では命を延ばすことが最も大切なことでした。実際に病院では死の直前または心停止に至ると回復の見込みのない場合でも家族を患者から引き離して挿管（喉に管を入れる）をし、心臓マッサージを行うことがあります。延命が最優先で延命のためなら何でもしようという考えが強くあります。このように処置は当然と考えられていました。しかし、これは終末

期にある患者さんに対する単なる儀式にすぎません。

胃ろう栄養などの処置により少しでも長く生きてほしいという家族の気持ちは尊重されるべきです。また、意志を表明できない患者に代わって胃ろう栄養などを断る家族もあります。これは良い悪いの問題ではなく、終末期を患者本人と家族がどう迎えたいのかという問いに正面から向き合って選択すべき問題だと考えます。

胃ろう栄養などの処置により少しでも長く生きてほしいという家族の気持ちは尊重されるべきです。また、意志を表明できない患者に代わって胃ろう栄養などを断る家族もあります。これは良い悪いの問題ではなく、終末期を患者本人と家族がどう迎えたいのかという問いに正面から向き合って選択すべき問題だと考えます。

自分で食事が取れなくなつた終末期の患者さんにどのような治療が可能でしょうか？胃ろう栄養（腹部から直接胃に管を通して、栄養剤を注入する方法）、中心静脈栄養（身体の深部静脈に直接高カロリーの点滴を行う方法）、点滴、或いは何もしないなどの選択肢があります。自分で考えることができない終末期の認知症の患者さんでも、家族はこれまでの言動や考え方からその人にふさわしい方法を主治医と話し合うことも可能です。延命だけを考えて選択することは少なくなっています。



こころの健康コーナー

こころの健康に関連する内容を掲載します。

こころの健康カルタ：心の健康について正しい知識を持っていただき、より健康な町になることを願って作成しました

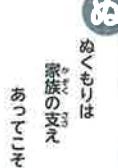
家族の方へ 病気の方の治療や生活を支えていくことは、ご家族にとっても大事です。

力になりたいと思う一方で、いつも頑張って張り詰めたり、どうして良いかわからなくなったり、疲れたり、将来の不安に悩むこともあるものです。

家族、周囲の方へのメッセージ

- 心の病気は、きちんと治療する必要があります。体の病気と同じように、専門知識のある医師や医療関係者による治療を必要とします
- まずは、時間を作り、黙って話を聞いてあげましょう
- 自分を責めない
- 「まだ必要ない」の段階で支援サービスの情報を集めておきましょう。自立支援医療制度や障害年金など
- 心の病気や家族の方は、こんな支援が利用できます。自立支援医療（医療費助成）など

厚生労働省「みんなのメンタルヘルス総合サイト」
http://www.mhlw.go.jp/stf/kokoro/support/3_09_02.html



(投稿くださった方)
愛育委員さん



(イラスト)
長谷川由美さん

上手に治療を受ける

● こころの病気の特徴を知っておこう

口早期の治療と再発防止が大切 こころの病気は、早期の治療が重要です。早期に治療することで、重症化や慢性化を減らすことができます。短期間に治癒する場合もありますが、ある程度の期間が必要な場合が少なくありません。

ロストレスへの対処が大切 こころの病気によっ

ては、症状が慢性化してしまう場合があります。一度こころの病気を経験するとストレスに対して弱くなり、小さなストレスから気持ちが不安になったり、再発や症状が悪くなったりします。そのためストレスへの対処法を身につけることが大切です。もし慢性化しても、病気との付き合い方を工夫すれば、自分らしい生活を送れるようになります。

● 症状や希望を医師へ上手に伝えるには

整理して話すことがあまり得意でない方は、伝えたいことを事前に紙に書いておくという工夫が役立つかもしれません。

厚生労働省「みんなのメンタルヘルス総合サイト」

http://www.mhlw.go.jp/stf/kokoro/support/3_09_02.html

こころ！上でつくる病気 総合大講義 うつ病、うつうつ病（双極性障害）、強迫性障害、进食障害、パニック障害、不安障害、認知症、依存症、PTSDなど



日本海
あり波あり

(投稿くださった方)
愛育委員さん



(イラスト)
長谷川由美さん

「こころの健康カルタ」の利用について

日々の暮らしの中で大事にしたい言葉や行動が読み札になっています。心の健康づくりの一環として、このカルタを保健課で貸し出しています。使い方も説明しますので各種会合、地域の行事に活用してみませんか？

詳細は右記問い合わせ先までご連絡ください。

<問い合わせ先> 保健課 ☎ 0859-54-5206